

開成の杜

第109号 ●2019年6月11日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024 (932) 4848 (代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



満開の桜と62年館

(撮影 山口郁生)

万葉の時代を想う



理事長・学園長
関口 修

平成の30年を一つの時代と見なすとすれば、平成は災害の時代であったと云えるのではないのでしょうか。

災害復興のさなかにある私達には東日本大震災後8年もの歳月を経ても、未だに復旧しない現状です。

令和という新元号名を4月1日、ニュースで知りました。令和の意味を知るべく、令月の意を広辞苑で調べたところ「万事をなすのによい月」とか「めでたい月」とありました。そして、気淑風和は「風がやわらぎ気分が穏やか」との雰囲気であるとのことを知りました。更に、日本最古の和歌集「万葉集」に由来しているとの解説を新聞で知り、日本人であることの喜びを感じました。このような思いを感じたのは私ばかりではないのではないのでしょうか。

太古の昔から、様々な中国古来の書籍が渡来し、論語・中庸・孟子や韓非子など枚挙にいとまないと云えるでしょう。余多の漢書で研鑽を積むことが教養ある人間とされ、その学習成果による教訓や諺が現代の日常生活にも生かされています。

このような漢学優先の潮流にあっても人々の情緒表現や自然の移ろいに共感し、和歌を詠む心情は、とても豊かな

潤いのある生活がおこなわれていたかを知る根拠となるものではないのでしょうか。

身分の上下を超越し、御門から農山魚村の民人や防人に至るまで、生活に根差した和歌を集約した万葉の時代（奈良時代前期）の民度の高さが窺えると思います。生活風習が垣間見られる万葉集の詠文にこそ日本が世界に誇る精神文化の萌芽があると考えたいものです。

漢学優先の当時の知識社会にあつて、万葉の歌を表現する手段として、万葉仮名という新たな文字文化を生み出した発想に畏敬の念を覚えると共に、万民への深い愛情を見ることが出来ます。

万葉の文化を生み出した先人の生活状況から推察できることは現代社会の先端技術の萌芽にも似た傾向があるのではないかと類推してみました。

異質な文化を融合させ、新たに不易な価値を生み出す過程は、時代を越えて日本人の探求心として育まれているのではないのでしょうか。

新たな令和の時代に日々の学びに身をおく学生・生徒の皆さんには、学んだ事柄・事象を熟慮し、それらの本質を見出して欲しいのです。本質を会得することにより、活用する知恵が生まれます。即ち、活用しようとする手段・方法を発見する努力こそが新たな流行や変わることはない真実を生み出します。学び・考え・発見する喜びを大切にしたいものです。



いまここに 創立73周年記念式典を挙行

学校法人郡山開成学園の創立73周年を祝う記念式典が、4月22日、建学記念講堂で行われた。教職員など1600人が集い、学園の誕生日を祝った。



式辞を述べる関口修学園長

関口修理事長・学園長が「本学園の建学の尊敬・責任・自由の建学の精神を良くわきまえ、新しい物事に積極的にチャレンジし、自分の夢に向かって進んでほしい」と式辞を述べた。続いて、熱海町の鞍手山、石筵、安子ヶ島、長沼町の高土山の檜・杉の成長ぶりについて報告があった。

ナレーションは附属高校普通科3年今村友里さん、食物科3年伊藤玲奈さん、食物科2年秋葉舞白さんが担当した。この後、学園オーケストラの演奏にのせて若者賛歌「吾子よ」を全教職員が高らかに歌い「健やかに育て」とエールを送った。これに対し、学生が応答歌「青春の確かさを今」を歌い上げ、式典を盛り上げた。



若者賛歌「吾子よ」を歌う教職員

永年勤続者表彰

記念式典の席上、永年勤続者の表彰があり、満30年から10年勤務の計16人に表彰状と金一封が贈られた。受彰者を代表して短大・幼児教育学科の早川仁准教授がお礼の言葉を述べた。

【勤続30年】

- 早川 仁 (短大)
- 熊田 敦也 (事務局)
- 辻 和宏 (事務局)
- 皆川 智彦 (事務局)

【勤続20年】

- 金子依里香 (短大)
- ポール・バーナムイ (短大)
- 松尾 智美 (高校)
- 村田 業織 (事務局)
- 青柳 益司 (事務局)
- 安田 典子 (家庭寮)

【勤続10年】

- 堀 琴美 (大学)
- 富士盛公年 (短大)
- 西勝ようこ (高校)
- 尾坪 大輔 (高校)
- 水澤 成宏 (高校)
- 本田 弘美 (事務局)



表彰された皆さん

平成31年度 第1回教養講座

「芥川賞作家・ 玄侑宗久さん講演」

式典終了後、創立73周年、平成31年度第1回教養講座が行われ、芥川賞作家で福聚寺住職の玄侑宗久さんが「作家であること、僧侶であること」のテーマで講演した。



講演する玄侑宗久さん



19回目の 笹山原遺跡発掘

令和元年5月11日から21日まで地域創成学科「考古学実習」、専攻科文化学専攻「日本の考古学」「考古学演習」の一環として、笹山原遺跡の発掘調査を実施した。今回は例年になく晴天に恵まれたが、出土遺物には恵まれなかった。旧石器時代、縄文時代の遺物はほとんど出土しなかった。分布の西の限界域に調査範囲が到達したようである。それに対して、平安時代の新たな遺構を確認し、次年度はその遺構の正体を明らかにするという課題を抱えることになった。

発掘調査は課題解決と発見の繰り返しである。当初平安時代の谷状地形と認識していたが、中盤になって平安時代の人々が人為的に掘った大きな穴で、その底面で火を焚いていたことがわかった。自然地形を利用した廃棄場との判断が、底面に焼土面を確認したことで、反転した。自然の産物ではない、人為的な痕跡である。全体を把握する必要性が生じ、掘り下げを中止した。遺構を残し、来年全体を確認して掘り下げる。学生と毎日現場でミーティングを行う。一日の調査の進行状況を説明し、その日までわかったこと、わからないことを伝える。翌日に解決する課題もあれば、前日の判断の誤りを訂正することもある。日々状況は変化する。思い込みは禁物。常に仮説を発掘によって検証しながら進めなくてはならない。発掘調査は自問と反省の日々である。そんな発掘調査を楽しんでくれる学生を頼むと思う。(なお発掘の日々の様子は本学園ホームページ地域創成学科ブログに掲載されているので、ご参照ください。)

平成30年度 附属高校における進路状況について

平成30年度卒業生の希望進路先合格・内定の割合は昨年とほぼ同じ約98%であった。目標の100%には届かなかったものの、ほとんどの生徒が第一志望の進路先に合格・内定をし、満足度の高い結果を得ることができた。進路先の内訳としては、進学が89%、就職が9%である。

進学では本大学に4名、本短大に39名が合格したのをはじめ、大学へ25名、短期大学に39名が合格した。近年の傾向として、附属高校として本学志向は変わらず高いが、一方で国公立大学を含め他大学への進学

希望者が漸増していることが挙げられる。今後も、一人でも多くの生徒が希望する進路先に合格することができるよう、適宜情報を提供し、面談を重ねるなど細やかな進路指導を進めたい。

就職においても、昨年度が就職活動を行った生徒は概ね希望する企業から内定をいただくことができた。今後も希望職種とのマッチングを慎重に見極めて就職指導を進めたい。今年度も附属高校として、キャリア教育を推し進めつつ、生徒の未来を拓くべく進路指導を行っていききたい。

平成30年度 附属高校進路先一覧

2019年3月31日現在(在籍87名)

●大学	25名	●短大	39名	●就職	8名
進路先	人数	進路先	人数	進路先	人数
郡山女子大学	4	郡山女子大学短期大学部	39	福島県警	1
福島大学	1			株式会社つすい百貨店	1
宇都宮大学	1	●専門学校	13名	株式会社三万石販売 コーポレーション	1
青山学院大学	1	進路先	人数	シダックス株式会社	1
玉川大学	1	郡山看護専門学校	1	株式会社天乃屋福島工場	1
日本体育大学	2	郡山健康科学専門学校	1	株式会社あいの里	1
桐蔭横浜大学	2	国際アート&デザイン大学校	1	株式会社日向	2
駒沢女子大学	2	国際情報工科自動車大学校	1		
国際武道大学	1	国際医療福祉大学校	1	●その他	2名
仙台大学	1	ケイセン公務員ビジネスカレッジ	1	進路先	人数
東北学院大学	1	東北電子専門学校	2	家事従事	2
宮城学院女子大学	1	東京法律専門学校仙台校	1		
群馬医療福祉大学	1	仙台デザイン専門学校	1		
尚美学園大学	1	山野美容専門学校	1		
女子美術大学	1	専門学校ビジョナリーアーツ	2		
日本大学工学部	1				
国立音楽大学	2				
聖徳大学	1				

大学短期大学部 同窓会の奨学生 認定式行われる

令和元年度「学校法人郡山開成学園 郡山女子大学同窓会奨学生・郡山女子大学短期大学部同窓会奨学生」が決められ、6月6日、学長室で認定式が行われた。大学生5人、短大生8人、専攻科1人の14人に認定証が贈られた。

【大学】

- 1年生 渡邊 愛菜(人間生活学科)
- 2年生 荒川 美風(人間生活学科)
- 鈴木 静羽(食物栄養学科)
- 3年生 阿部 桃佳(人間生活学科)
- 大和田理恵(食物栄養学科)
- 【短期大学部】
- 1年生 橋本 瑠那(健康栄養学科)

就職部

平成最後の就職状況は、大学・短大共に100%の就職率で終えることができ、関係各位に御礼を申し上げる次第である。

大学の就職活動も二極化の傾向は見られたが、人間生活学科では栃木県高校教員採用試験に合格、短大でも公務員に12名合格し、その他の学科でも資格を活かし専門職に



学内合同企業説明会

- 坂本 菜摘(健康栄養学科)
- 嶋 未来(幼児教育学科)
- 小林 真優(地域創成学科)
- 2年生 岩崎 千春(健康栄養学科)
- 吉田 華澄(幼児教育学科)
- 窪田 未来(幼児教育学科)
- 高橋 舞花(地域創成学科)

【専攻科】

- 1年生 小林 若菜

新入生を迎えて宿泊研修 裏磐梯で学外オリエンテーション

新入生を迎えての新入生オリエンテーションが今年も4月25日、26日の両日、Active Resorts 裏磐梯(旧・裏磐梯ロイヤルホテル)で行われた。

大自然の良い環境のもと、教師と学生が共同の宿泊研修を通して相

就職をしている。福島県内の就職も大学・短大合わせて72%で地元就職に貢献している。

現在、大学4年生・短大2年生の就職活動では、昨年よりも就職内定が早い。想像と現実のギャップに直面しながら就職活動しているが、社会人の良さを知る機会となり、成長していく姿が見られる。

会社訪問をして、入社3年目目どころな仕事をしているかイメージできるかどうか、企業選びのポイントではないだろうか。

世界経済の先行きが不確実であり、人口減少の中、4月から働き方改革関連法が施行された。女性や高齢者の働きやすい環境が整い、経済の成長力の底上げ、成長に有効なもの人材である。時代を超えて学び続けることの大切さは今も変わっていない。いいものは謙虚にどんどん吸収することを望む。

昨日の大学1年生の就職ガイダンスでの前向きな姿勢と目の輝きを継続してほしい。

互理解と親睦を深め、今後の学園生活を充実したものにすることが目的。大学82名、短大254名、計336名が参加した。

開校式では学長講話の後、各学科の教育内容を全員で確認し、より具体的な講義内容や単位修得等の説明を受けた。新入生は新緑の大自然を満喫し、これから始まる学業にモチベーションを高めていた。



親交を深めた宿泊研修

方部別教育懇談会 本年度日程決まる

教育の充実を目指して学園長をはじめ本学の教職員と父兄が懇談する方部別懇談会は、今年も6月23日(日)から開催されることが決まった。懇談会では、伊野家族会長の挨拶、学園長による学園教育の基本方針について、また、教務部・学生生活部、就職部の、それぞれの各担当からの説明が予定されている。

また、個人面談では大学・短大アドバイザーや高校のクラス担任と、より具体的な話し合いが予定されており、例年どの会場でも真剣な懇談の様子がみられ、今年も実りある成果が期待されている。

●本年度の日程は次の通り

- 6月23日(日) 北東北方部会
- 6月30日(日) 郡山方部会
- 7月14日(日) 福島方部会
- 7月15日(月) 県南方部会

特集 研修紀行

短期大学部

短期大学部では、今年も各学科の特徴を生かした研修旅行を行った。学んだ新しい知識や世界観はこれからの学習に大いに役立つことだろう。

【音楽科の 研修旅行に参加して】

短大・音楽科 高井 奈々子

私たちは、2月15、16日に1、2年生合同で東京に行つて参りました。1日目の最初は、民音音楽博物館を見学し、ロシアの作曲家、トルストイの音楽観を学び、古典ピアノとオルゴールの実

演奏を聴きました。実演奏は、19世紀の時代を感じさせる素敵な音色でした。その後、NHK交響楽団によるオーケストラの演奏を聴きました。迫力のある演奏が忘れられません。音楽表現、技術の面で参考にしたところも沢山あり、私たちにとても良い刺激となつたでしょう。2日目は、劇団四季による「パリのアメリカ人」を観ました。恋のミュージカルで、一糸乱れぬダンスが印象に残っています。愛、人生全てが素晴らしいと思えるストーリーでした。研修旅行を通して、音楽の教養を深めることができ、東京でしか味わえない時間を過ごすことができました。

ようなイメージから設計されているそうです。建築家である安藤忠雄氏の粋なアイデアにセンスを感じました。また、建物の内部にも工夫が凝らされていて、強く印象に残ったのが「子どものへや」にある、光天井です。部屋のどこにいても影がでないこのつくりは、子どもの読書をより快適にしてくれます。



国際子ども図書館にて

短大・地域創成学科 岩崎 ひより

研修旅行2日目は全員で、ディズニープラザホテルにて「ディズニーアカデミー」を受講しました。パーク内で働いているキャストさんが目指すものについて詳しく知ることができました。私たちが、ディズニーにまた行きたい、また来ようと思うのはただ単に楽しいというのだけでなく、キャストさんがゲストに対するおもてなしの心、ポ



NHKホールにて

【地域創成学科の研修旅行】

短大・地域創成学科 鈴木 晴翔

研修旅行1日目は「上野コース」を選択し、まず国際子ども図書館を見学しました。

国際子ども図書館は建築物としての価値が高いことで有名な児童書のナショナルセンターです。私は初めて訪れたため、その建物の壮麗さに驚きました。レンガ棟とアーチ棟の二つから成り立っており、特にアーチ棟は本をめくる



ディズニーアンバサダーホテルにて

ゲージやコミュニケーションが大切かを知ることができました。就職して、人と接する時にはそのことに気をつけ、学んだことを実践しようと思えました。「ディズニーアカデミー」は社会に出ていくうえで重要な事を教えてくれました。

短大・地域創成学科 佐久間 菜奈子

研修旅行1日目は「お台場コース」を選択し、森ビルデジタルアートミュージアムを見学しました。たくさんさんのエリアが設けられていて、エリアごとに全く違う雰囲気のアートに触れることができました。一つの場所だけでも、時間が過ぎていくことによりデザインも変化し様々な印象を持ちました。また、見る角度を変えただけでも楽しむことができました。音楽とデザインも素敵で幻想的な空間のように感じられました。このことから施設のテーマである「境界のない一つの世界の中で、さまざまに探索し、発見する。」を理解することができました。デザインは奥が深く、見る人の心を動かす素晴らしいものです。今後、学生生活においてこの経験を生かし、物事を多方面から考え、いろいろな考えを持つようになりたいと思います。



森ビルデジタルアートミュージアムにて

大学院・大学・短大・専攻科349名が入学

開成校がほこり始めた4月4日、郡山女子大学大学院博士課程第12回、郡山女子大学修士課程第26回、郡山女子大学第54回、郡山女子大学短期大学部第70回、郡山女子大学短期大学部専攻科第20回の合同入学式が、建学記念講堂で行われ349名が入学した。

郡山開成学園オーケストラが「すべての宝にまさる宝」を演奏した後、大学院博士課程1名、大学院修士課程1名、大学82名、3年次編入5名、短期大学部254名、短期大学

部専攻科6名、計349名に関口修学長から入学が許可され郡山女子大学の学生として、第一歩を踏み出した。

関口修学長は告辞の中で「尊敬・責任・自由の建学の理念を基に勉学に励み、人間形成に努力し、社会に貢献してください」と述べた。

来賓祝辞では、郡山開成学園家族会伊野泰司会長、同窓会長、附属高校生代表小林恭子さん、附属幼稚園生代表渡部悟くん、高野誌雫さん、在学生代表の藤田真由子さん

(地域創生学科)がお祝いの言葉を述べた。

大学食物栄養学科の下堂園盛桜さんが「本学の学則を守り、その教育方針に従い、学生としての本分を尽くし、さらなる復興のためにも、未来への希望を持ち、学問と教養を備えた社会で活躍できる女性を目指します」と誓いの言葉を述べた。



ようこそ 開成の杜へ



誓いの言葉を述べる下堂園さん

私が郡山女子大学を志願した理由



大学 人間生活学科 菊地 沙希

私の将来の夢は、一級建築士になることです。本学の建築デザインコースでは、家政学という観点から建築を学ぶ、一級建築士やその他の建築に関する資格が取得できるほか、色彩学やインテリアデザインについても学ぶことができ、幅広い分野における専門知識が身につけられる最適な環境だと考え、志願しました。柔軟に対応できる建築士になるために、日々勉学に励み、知識やスキルの向上に努めていきたいです。



大学 食物栄養学科 面川 沙羅

私は将来、子ども達の健やかな成長のための食を提供できる保育園の管理栄養士になることが夢です。4年間の大学生活では国家試験に向けた専門的な知識を身に付けることができ、就職活動のサポートが非常に充実しているため、食物栄養学科への入学を志願いたしました。私は夢を叶えるために、国家試験への勉学に日々励み、さらに人間性が豊かな女性に成長できるような大学生活を送ってまいります。



短大 幼児教育学科 松崎 愛美

私は将来「子どもの手本となる幼稚園教諭」になりたいと夢見てきました。高校では保育に関する授業の選択や保育検定一級取得、ボランティア

卒業

328名が新たな一歩

大学院・大学・短期大学部

大学院修士課程第24回、大学第50回、短期大学部第68回、専攻科第18回の修了式、学位記授与、および卒業式が3月18日に建学記念講堂で挙行された。郡山開成学園オーケストラによる演奏の演奏されたあとに式典に入ったこの日集ったのは大学院修士課程3名、大学73名、短期大学部251名、専攻科1名の計328名。関口修学長が宇津木春奈さん(大学・食物栄養)ら各学科総代に卒業証書などを手渡した。

関口修学長は「卒業は社会人としての第一歩、本学での学習の成果を発展させ、女性としての特性を生かし、さらなる飛躍を望みます」と述べた。

来賓の品川 郡山市長、郡山



附属高等学校

3月3日、雛の節句のよき日に建学記念講堂において第60回の卒業式が挙行された。普通科50名、音楽科1名、美術科9名、食物科17名の合計87名が式に臨んだ。

担任に一人ひとりが呼名され、それぞれの科の総代に卒業証書が手渡された。

次に賞状授与が行われ、学園長賞1名、学校長賞3名、皆勤賞24名が表彰された。佐々木校長は、「高校生活の中で培った確かな学力、教養を生かし、思い出を忘れることなく、人々との絆を大切に、社会の発展に貢献してください」と述べた。在



開成学園家族会伊野泰司会長、郡山女子大学同窓会名倉美恵子会長の祝辞に続いて、附属高校を代表して斎藤希海さん、附属幼稚園から小林彩人君、萩原愛梨ちゃんがそれぞれお別れの言葉を贈った。短期大学部音楽科の大竹実里さんが在校生を代表して送辞を述べた。そして、人間生活学科の澤香奈子さんが惜別の思いを答辞に託した。「蛍の光」「仰げば尊し」の歌声が会場に響き渡ると、こらえ切れずに目頭を押さえる卒業生の姿が見受けられた。



在校生を代表して沼田清香さん(2年)が送辞を、卒業生代表の酒井和泉さんが答辞を述べ、思い出深き学び舎をあとにした。

附属高等学校

入学を祝福するかのよう開成桜が満開となった4月9日、郡山女子大学附属高校の第63回入学式が行われた。

新入生は普通科114名、音楽科11名、美術科17名、食物科39名の計181名。式は郡山開成学園オーケストラの演奏で開幕。各担任から一人ずつ呼名され、佐々木貞子校長

母と共に誓いの言葉を述べる小楢山さん



から入学が許可された。佐々木校長は式辞で「入学おめでとう。尊敬・責任・自由の建学の精神のもと、勉学にスポーツに励み、自分を高めてください」と述べた。

来賓の祝辞の後、在校生を代表して沼田清香さんが歓迎の言葉を述べた。新入生を代表して普通科の小楢山美波さんが父兄と一緒に「附属の生徒として自覚と誇りを持ち、社会貢献できる女性になるよう、日々努力します」と誓いの言葉を述べた。

附属幼稚園

園庭の桜も満開となった4月13日、45名の入園児が期待を胸に新たなスタートを切った。

一人ひとりが名前を呼ばれて、「ハイ」と大きな声でお返事することができ、大きい組さんからお祝いの言葉と手作りのペンダントを頂いた。そして、「ぼくたちわたしたちは、『よくみる よくきく よくかんがえて』の幼稚園の目標をしっかり守って元気に過ごします」と誓った。



私が附属高等学校を志願した理由

ア参加に取り組みました。そして、充実した設備と環境に恵まれている本学幼児教育学科を志願しました。専門的知識や技術をより深めている点や女性としての教養を身につけられる点に魅力を感じております。
2年間の中で自らの保育や社会に対する視野を広げ、夢の実現に励みたいです。



附属高等学校 普通科 小楢山 美波

私は、中学3年生の時、巡回演奏会や高校入試合格サポーター講座など、様々な場面で附属高校と関わる機会がありました。その際に見たマーチングバンドの演奏や、先生方の熱心なご指導に強い魅力を感じ、附属高校を志願しました。私は、特進クラスに在籍しているため、部活動だけでなく、勉強もより一層頑張らなければなりません。両立を図りながら、附属プリンスとしての自覚を持ち、充実した高校生活を送りたいです。



附属高等学校 食物科 佐々木 莉穂

私は、将来調理師の資格をもった管理栄養士になり、世界で活躍するスポーツ選手を栄養面、そして精神面においても支えられるようになりたいと思っています。そのために、食について基礎から学びたいと考え、本校の食物科を志願しました。高校3年間食物科の中でじっくり学び、調理の技術を身につけ将来の夢に向かって充実した学校生活を送れるよう日々努力していきたいと考えています。

附属幼稚園

園庭の梅の花も咲き、さわやかなお天気に恵まれた3月19日、卒園式が建学記念講堂で行われた。34人の卒園児は小学校に入学するという期待と嬉しさの反面、一緒に庭で遊んだお友達と別れる寂しさを感じながら式に臨んだ。

一人ひとりが名前を呼ばれると、「ハイ」と元氣な返事をして、賀門園長先生から「げんきで あかるくて んまで のびよ」と書かれた卒園証書を頂いた。先生方はこれからも「よくみる、よくきく、よくかんがえて」を忘れず成長してほしいと願い



ながら拍手の中を退場する卒園児たちを見送った。また、園内に咲いている梅と同じ梅(白加賀)の苗木が記念に贈られた。

高体連地区予選結果

鈴木 怜奈・萩原 萌
バレーボール 優勝
テニス

卓球
学校対抗 優勝
ダブルス
優勝 伊藤 笑・國分 陽奈組
2位 小池 和妃・白土 咲良組
3位 中村 絢・樫村 朱里組
3位 高橋 海里・若松 優希組
5位 伊藤さやか・緑川奈々美組

県大会出場
遠藤 楓花・柳沼 麻紀組
シングルス 2位 伊藤 笑
3位 國分 陽奈
3位 小池 和妃
ベスト8 高橋 海里・若松 優希・白土 咲良・樫村 朱里

県大会出場
遠藤 楓花・柳沼 麻紀・酒井 夏海・中村 絢・伊藤さやか・二瓶 有加

ハンドボール 優勝
剣道
団体 優勝
個人 3位 平 美菜
5位 小林 恭子
5位 滝田 優菜

県大会出場
大越 亜季・伊藤 風侷・小賀坂 りん

新体操
団体 優勝
個人総合 優勝 五十嵐 由
2位 長谷川 愛乃
3位 大橋 萌

*県大会出場

陸上
1年4×100mR 2位
高橋 なつき・橋本 暖亜・佐々木 さら・宇野 長月
共通4×100mR 4位
山口 紗英・片寄 沙紀・宇野 長月・今泉 みか
共通4×400mR 7位
橋本 暖亜・佐々木 さら・市川真奈美・今井 真海・福永 英己・山口 紗英

県大会出場
中倉 里桜・柳沼 妃花里組

県大会出場
団体 3位
シングルス ベスト8
波多野 亜優
ダブルス 5位
安部 里奈・波多野 亜優組

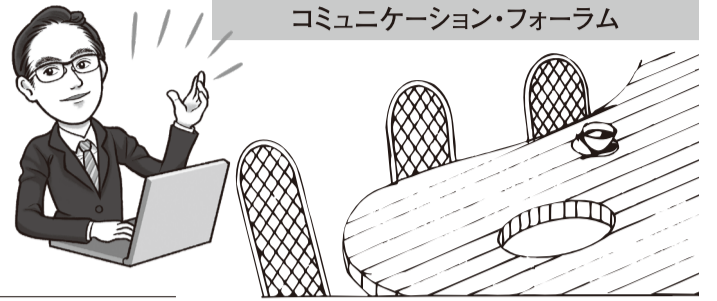
県大会出場
団体 7位
個人 4位 柳沼 萌
県大会出場 高橋 藍

県大会出場
団体 優勝
個人 4位 柳沼 萌

*県大会出場

テールーム

コミュニケーション・フォーラム



好奇心は明日への力

山口 猛

自分で言うのも恥ずかしいのですが、私は好奇心に満ち溢れています。好奇心とは、未知の事柄に興味・関心を持ち探求することを指し、人生の潤滑油であると確信しています。

私の好奇心は人生の一つをご紹介します。私が大学時代を過ごした1990年代後半〜2000年前半、インターネットが一般家庭にも急速に普及してきた時代でした。私はインターネット上で情報発信ができる「WEBサイト」の仕組みに興味を持ちました。きっかけは、趣味の音楽で意気投合できる仲間が身の回りの友人にはいなかったこと。「インターネットを使えば全国で仲間を探すことができるかもしれない」という、思い返せば無謀ともいえる動機でした。

情報工学を専攻したこともあり、実践環境は整っていました。WEBサーバー構築・HTML言語・CGIプログラム・独自ドメイン取得など独学で取り組み、何とかWEBサイトの公開にたどり着きました。SNSがない時代、コラム・オリジナル音源



プロジェクトのメンバーと

掲示板・チャット・写真集・メーリングリストサービスなどを網羅したポータルサイトが完成しました。全てを一人で管理していたため、とても大変でしたが充実した日々でした。結果、WEBサイトでは全国各地から150名ほどの仲間が集まり、イベントを開催するなど、現実世界での交流にも発展しました。好奇心は自らが前向きになるばかりではなく、周囲にも力が波及することを体感した出来事でした。

いま、地域創成学科の授業の一つで、「地元のパン屋を対象とした新聞記者活動プロジェクト」を実施しています。プロジェクト所属学生は、パン屋の探求・地域社会の理解など、好奇心を学びに変換し、活き活きと学修を重ねています。「プロジェクトを成功させるとぞ」という強い信念は、主体的な学びとして表れています。

好奇心は、人生の潤滑油、自分が自分であり続ける価値のある素晴らしい力です。

(短期大学部・地域創成学科准教授)

小さな発見



図書館 国井 佳那子

去年の春から郡山女子大学に就職し、早くも2年目となった。現在、筆者は毎日せせらぎ小道を徒歩で通勤をしている。そこには、季節ごと

に見頃の異なる様々な花木や水路があり、春には散った桜の花びらが、秋には色とりどりの落ち葉が水路を流れる美しい情景を見ることが出来る。ほぼ毎日通っている同じ道だが、歩いているとよく小さな発見をする。

朝、静けさの中で耳を澄ませてみると、流れる水の音や草木の茂みの中で鳴いている虫やカエルの存在が明瞭になる。辺りが薄暗くなる夕方には、小道沿いの木々に西日が差し、照らされる姿はライトアップされたように見え一段と映える。重なる木々の葉の間から木漏れ日がゆれる光景も美しいが、照らされた葉の葉脈が透ける光景は、まるで天然のステンドグラスのようだ。関口富左名督学園長のお言葉「自然を凝視めて、師としよう」を実感するひとときである。

同じ道、同じ場所でも、時間帯や季節によって異なる顔を魅せるせせらぎ小道は、目線を変えてみると、様々な発見と出会いに恵まれることがある。一見慣れ親しんでいる、何の変哲もない光景でも、たまには目線を変えて思慮を含めてみるのも良いものだと感じる。いつもと変わらない同じ道でも、なにか小さな発見があるかもしれない。

インスタントラーメン オリジナル料理コンテスト



附属高等学校 食物科3年 矢部 若菜

私は、2月11日に女子栄養大学で行われたインスタントラーメンオリジナル料理コンテストに出場して参りました。全国応募総数1,397作品から第一次書類審査を経て、最終

審査に全国から12名が決勝大会に進みました。テーマは時短料理(15分以内)でインスタントラーメンをおいしく健康的に食べられる栄養たっぷりのアイデアメニューです。私の作品は「旨味の花束〜セルクル詰め」です。時間を短縮するために、カップ麺を使用し、食感を味わうため、麺の表面をカリカリに油で焼き、麺と麺の間にエビ、アボカド、チーズ、マヨネーズ等を混ぜ合わせたパテをはさみ、セルクル型に入れて形を整え、その上にスモークサーモンと生ハムを花束に見立てて飾り、彩りよく盛りつけました。全国大会の出場が決まってから、佐々木淑子先生にアドバイスをいただき、放課後や休日を使い、何度か練習を重ねてきました。立体的に彩りよく盛りつけるために、試行錯誤を繰り返して、工夫を凝らしました。15分という時間は本当に短く、大会当日は不安でいっぱいでしたが、今までやってきたことを信じて一生懸命取り組んだ結果、制限時間内に作品を仕上げることができ、入賞をいただきました。日頃の学びが生かされ、最高の経験となりました。食を通して多くの方々を幸せにできるような料理を提供できる調理師になりたいと思っています。

私の本棚

「ハムレット」 シェイクスピア

郡山女子大学短期大学部幼児教育学科 准教授 伊藤 哲章

作家の立花隆氏が、二十歳の頃に父親から「お前に言うことはないけれども、これだけは読んでおけ。親が子供に伝えるべきことは、これで全て」と言ってもいいんだ」と言っていて、手渡さ

昨日はなにを召し上がりましたか。1日3回、これが1年365日毎日のことなので、食事は往々にしておろそかにしがちです。毎日きっちり食事を管理しようとは申しませんが、食事を楽に楽しむことを楽しませよう。たまには簡単に済ませてもいいです。外食は時に心を豊かにもしてくる機会にもなります。

四季のある日本には、野菜や魚、果物がたくさん出回る時期があります。旬に取れる食べ物は、比較的安価で栄養価も高いのです。現在は一年中出回る食べ物が増えてきましたが、旬のものを食べて自然の恵みを楽しみましょう。この時期旬を迎える野菜を挙げてみる

生活診断室 シリーズ 62

旬を食べよう

郡山女子大学短期大学部 健康栄養学科 教授 會田久仁子

とアスパラガス、玉ねぎやそら豆、さやえんどうなどがあります。初夏を感じさせる食べ物が並びました。どうですか？名前を見ただけで食べてみたくなりませんか？その食べ物の時期になったのかとか、この時期にはそれを食べたいなど、旬を感じて季節のエネルギーを体に取り込み、先人は生活を豊かにしてきました。果物ではこの時期ならではのさくらんぼ、梅、びわなどがあります。魚ではあじ、あゆ、イカなどがおいしい時期を迎えます。その季節に初めて食べる物は七十五日寿命が延びるとか、東を向いて笑って食べると一年良い年であるとかいいます。旬の味覚を満喫しましょう！

れば、夜が昼につぐごとく、他人に対しても誠実にならざるを得ん」の二つである。私の今までの人生を振り返ると前者は合格点をつけられるが、後者は中々難しい。そもそも、もっと自分というものを深く知らないとおのれに誠実であるということがどういふことかわからないのである。

さて、2年後に私の娘が成人を迎えた時には、「ハムレット」を贈るつもりだ。もちろん、立花氏の父親の台詞をお借りして。

ようこそ 郡山開成学園へ

新任教職員の方々のご紹介

郡山女子大学

(4月1日付)

本間 杏奈 助手
郡山女子大学家政学部食
物栄養学科卒
平成25年から期限付助手
所属 大学・食物栄養学科

短期大学部

〔本採用〕

安部 高太郎 講師
東京大学大学院博士課程
単位取得満期退学
学位取得センター研究員
所属 短大・幼児教育学科

附属高校

〔本採用〕

志田 智子 教諭
パリ・エコールノルマル音楽
院卒
平成26年から期限付講師
所属 附属高校・音楽科

附属幼稚園

〔本採用〕

畠山 瑞貴 教諭
郡山女子大学短期大学部
幼児教育学科卒
平成26年から期限付教諭
所属 附属幼稚園

事務局

〔本採用〕

草野 優芽 職員
いわき明星大学人文学部
現代社会学科卒
平成26年から期限付職員
所属 入学事務・広報部

有賀 広行

職員

東洋大学工学部卒
いわき中央警察署副署長
所属 学生生活部

期限付雇用職員

星 茉那 助手
郡山女子大学家政学部食
物栄養学科卒
所属 大学・食物栄養学科

佐藤 美鈴 助手
郡山女子大学家政学部食
物栄養学科卒
所属 短大・健康栄養学科

宗像 佑華 助手
郡山女子大学短期大学部
幼児教育学科卒
所属 市永盛保育所

橋本 典子 講師
早稲田大学大学院教育学
研究科修了
福島県立小野高等学校学
習支援員
所属 附属高校・国語

山崎 知加 講師
文教大学文学部日本語日
本文学科卒
日本大学東北高等学校非
常勤講師
所属 附属高校・国語

長尾 由美 講師
東海大学文学部英文学科卒
田村市立常葉中学校
所属 附属高校・英語

河内 和男 講師
山形大学理学部地球科学
科卒
平成30年から非常勤講師
所属 附属高校・理科

過志 利恵 講師
郡山女子大学家政学部食
物栄養学科卒
平成29年から非常勤講師
所属 附属高校・食物

塩田 田香 教諭
郡山女子大学短期大学部
幼児教育学科卒
柴宮幼稚園
所属 附属幼稚園

准教授
郡司 尚子(大学・食物栄養)
長谷川 貴弘(大学・食物栄養)
金子 依里香(短大・健康栄養)

昇任
総務部 熊田 敦也

総務課長 齊藤 裕夫
総務課長補佐 高橋 一
入学事務・広報部
部長 池下 勇男
教務部
部長補佐 辻 和宏
教務課長 皆川 智彦
学生生活部
主任 鈴木 美由紀
就職部
主任 根本 千佳
図書館
主任 井上 英子
高校事務室
校長付 古川 京子
保全年務係主任 安田 英夫

事務係主任 湯田 宏恵

異動
管財部
副部長 加瀬 洋(総務部部長代行)
入学事務・広報部
主任 本多 泰治(総務部・IR
室主任)

総務部
主任 鈴木 美幸(学生生活部)
IR室 阿部 真澄(管財部)

平成30年度で退職された方々
3月末日、次の方々が郡山開成
学園を退職されました。
これまでのご尽力に心から感謝す
ると共に、今後のご活躍ご健勝を
心からお祈り申し上げます。

大学/関口晋・黒澤廣子
短大/阿部優子・星野朋子・
二宮和比古・八木橋由佳
高校/高橋正・渡辺峻大・
本多恭子

幼稚園/古川尚美
事務局/片寄一富・鬼頭ノリエ

訃報 おくやみ
鳥崎 恒夫 さん
元郡山女子大学広報室長
3月28日死去、84歳
ご逝去を悼み心からお悔やみ申し上げます。

NEWS 学園ニュース

3年連続初戦突破 「春高バレー」

第71回全日本バレーボール高校選
手権大会「春高バレー」は1月5日、東
京都の武蔵野の森総合スポーツプラ
ザで開幕。3年連続20回目の出場
の附属高校は22年連続44回出場の四
天王寺(大阪)を2-0で破り3年連
続初戦を突破。2回戦では強豪下北
沢成徳(東京)に0-2で敗れ、16強
入りを逃した。

2年ぶり2度目の出場 全国高等学校選抜卓球大会

附属高
校卓球部
は、3月25
日、28日
まで北九
州市立総
合体育館
において
行われた
第46回全
国高等学
校選抜卓
球大会に
出場。石
川県代表の強豪遊学館高校と対戦
し、善戦するも惜しくも敗れ、決勝
トーナメント進出は叶わなかった。
▼女子団体リーグ「P組」郡山女子
大附属3-2名豊(大分)郡山女子
大附属0-3遊学館(石川)



遊学館相手に善戦

第30回郡山女子大学附属高等学校 校長杯バレーボール大会

3月9日、学園第三体育館で県内
から8チームが参加して熱戦を展開。
成績は次の通り。
▼第1位 小名浜第一中学校
▼第2位 福島第三中学校
▼第3位 清水中学校



小名浜一中が優勝

大河内さんが全日本入り

3月に本大学を卒業した、大河内
未来さんが全日本バレーボール協会2
019年度の全日本ナショナルチーム
メンバーに選ばれた。女子メンバーは11
人で、世界選手権やアジア大会などの
国際大会に派遣される。大河内さん
は2016年度から選出されており
4年目となる。



活躍が期待される
大河内さん

先輩を訪ねて



根本 正子 さん
昭和49年度
附属高等学校普通科卒業

現附属高等学校校長の佐々木貞
子先生と同級生で、教室では机を並
べ、共に勉学に部活に励んでいたとい
う根本正子さん。有会社社サワー
クニフォーム(富久山町)を19年前
に起業されました。「故名誉学園長
関口富左先生の女子教育への情熱、
全てを包み込む温かさ、熱き想いに
触れ、私も人と繋がりたい、社会に

第32回きのこ料理コンクール 全国大会で飯村葉月さん入賞

3月14日(木)、東京都渋谷区の服部
栄養専門学校で行われた日本特用
林産振興会主催の「第32回きのこ料
理コンクール全国大会」で、全国21
14作品の応募の中から福島県代
表として選ばれた飯村葉月さん(短
大・健康栄養学科1年)の作品が、
日本特用林産振興会長賞、全国農
業協同組合連合会長賞を受賞した。
飯村さんは3年連続の出場。

3学年が清掃奉仕

5月7日(火)、附属高校3学年が清
掃奉仕を行った。2時間にわたり開
成山公園、49号線沿いの「ごみ拾い」
ご苦労様でした。



ゴミ拾いに汗を流す生徒

役立ちたいと起業した次第です。現
在仕事で母校の先生、在校生の方々
に大変お世話になっていきます」。
高校3年間、バスケットボールに打
ち込んだ根本さん。「切磋琢磨して、
多くの友だちと学んだことは生涯の
財産です。また、芸術鑑賞講座や教
養講座で、感動や体験を重ね、たく
さんの思い出を作ることができ、感
謝しています」と、高校時代に思いを
馳せます。
「壁にぶつかっても軸をしっかりし
て何事にもぶれない自分であれば、
乗り越えていけるはず。まだまだ人
間形成の時と捉え、女性が活躍する
令和の時代を共に輝き邁進していき
ましょう」。先輩から、後輩の皆さん
へ力強いメッセージをいただきました。

若冲展に感動

福島市の県立美術館で開催された「東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展」を附属高校美術科の1〜3年生が鑑賞した。

附属高校には県内唯一の美術科がある。生徒たちは伊藤若冲展で人気のある「連地図」「鶏図」「百犬図」「象と鯨図屏風」などを食い入るように見つめていた。



真剣な表情で作品に見入る生徒たち

泥だらけになって 田植えに挑戦!

本学園の田植えが5月20日、市内の三穂田町で行われた。青空の下、今年も短大・健康栄養学科、附属高校・食物科、附属幼稚園児ら266人が挑戦し、日本の主食である米の生産過程を学んだ。作業に先立ちJA福島さくら郡山本部長の宗形さんと関口修理理事長、佐々木貞子校長のあいさつの後に、参加者は水田に入り、苗植えの目印「がし引き」を体験した後、手植えに挑戦。泥だらけになりながら苗を植えた。



田植え体験する学生たち

プリンセスハンバーグ発売

附属高校食物科の3年生が地域活性化を目指し、福島県食肉衛生同業組合と協力、福島の高山高原豚と福島牛を使用した「プリンセスハンバーグ」を開発した。粗さ9ミリのひき肉を使用、ソースは「トマト」「おろし」「カレー」の3種類を完成させた。6月1日からは県内のJA直売所や県食肉生活衛生同業組合加盟店などで発売された。開発に携わった食物科3年の土屋香凛さん、市川真奈美さん、波多野亜優さん、パツケージを考案した美術科3年久保田朱莉さんがPRした。



発表する生徒たち

「鯉の折り紙」でギネスに挑戦

大学と短期大学のサークル「メイプルレディーズ」に所属する学生約10人が中心となってギネス世界記録「鯉の折り紙」に挑戦した。5月5日の子どもの日、ニコニコ子ども館でつくった折り紙6270枚を展示、ギネス世界記録を達成した。今後、この日の様子などを記録した動画や写真などの資料をギネスワールドレコーズに提出、認められればギネス記録となる。

郡山市の子どもまつりの一環。生産量日本一を誇る郡山の鯉をPRしようとして吉田真奈美さん(大学・食物2年)さんらが中心となって1月中旬から準備してきた。吉田さんは、「記録も達成でき、郡山の鯉のPR



ギネス記録に挑戦したメイプルレディーズ

第4回ふくしま産業賞 「しみちゃんズ」が学生銀賞

福島県内の産業やものづくりの振興を通して地域の活力を高めようと、福島民報社と県や各経済団体、農林水産団体などと協力して設けられた「ふくしま産業賞」で、本学のしみちゃんズが「学生銀賞」を獲得した。メンバーはじゅうねん(エゴ)や凍み餅の材料の栽培、成分分析などの地道な取り組みが評価されたと喜び「これからも葛尾村との交流



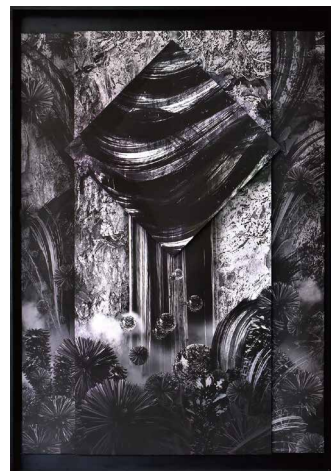
左から 渡部莉奈さん(短大・健康栄養学科平成30年度卒) 上野紗央莉さん(大学・食物栄養学科平成30年度卒) 佐藤瑞穂さん(大学・食物栄養学科平成30年度卒)

を深め地域に貢献したい」とリーダーの佐藤瑞穂さん(30年度卒)は意気込んでいた。

紙上美術展 88

「quiet forest」

郡山女子大学短期大学部 地域創成学科准教授 小松 太志



写真と三次元CG、墨の筆跡を素材として構成した自然のイメージと幾何学的な線が生み出す秩序の対比。色彩における白と黒の対比。これらの対比のバランスを取りながら、静謐な森の奥で沸き立つ生命感のようなものを表現しました。1960年代に現代美術家フランク・ステラが始めたと言われるシェイプド・キャンパスの技法を起点として、層や重ねによる表現を試みた作品シリーズの一つです。プロフィール 筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻 博士前期課程修了。修士デザイン学。広告制作会社のデザイナーを経て、郡山女子大学短期大学部 生活芸術科に勤務。現在は、地域創成学科でCG・デザイン関連科目を担当。

木もれ陽

学園内の梅の花がそとと花開き初春を告げたのは2月頃だろうか。3月には卒業生との希望に満ちた別れがあった。4月、春の訪れと共に新入生を迎え、そして現在。日に日に新緑が眩しさを増す中、学園はいまこの時を謳歌する皆さんの清々しい笑顔で満ち溢れている。

た」と述べられた。平成の時代から未来に向け、大いなる希望と慶びに満ち溢れたこの歴史的な瞬間に立ち会えたことに感動を覚える。俄かに万葉集に関心が高まり、言葉の持つ奥深さを改めて実感した。また、万葉集の素晴らしさは身分や立場によって分け隔てることなく編纂されていることにもあると思う。日本国民の幸せと国の一層の発展と共に世界の平和を切に希望されておられる天皇陛下のお言葉に、令和という御代が、人と人との繋がり

BOOK 郡山女子大学 大学図書館

新しい本が届きました… 第10回



『Webでつながる: ソーシャルメディアと社会/心理分析』 土方嘉徳著, サイエンス社 請求記号 007.3||Hi

『ムカシのミライ: プロセス考古学とポストプロセス考古学の対話』



阿子島香, 溝口孝司監修, 勁草書房 請求記号 202.5||A



『日本食と出汁: ご馳走の文化史』 松本仲子著, 雄山閣 請求記号 383.81||Ma

『リスの森ひっこし大作戦』

リン・レイ・パーキンス著, 斎藤倫子訳, 偕成社 請求記号 933.7||Pa



5月1日、新天皇陛下が御即位され「令和」という新しい時代を迎えた。現存する日本最古の和歌集「万葉集」にある序文から2文字を引用、新元号が制定された。安倍首相より「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め、『令和』に決定し

が国をも超え、お互いを寄せ合い、手を携えていくことができる、皆さんが健やかに日々過ごすことができる、そのようなより良き時代となるよう心から願いたい。

(孝)